

# はとり 羽鳥だいすけ

大輔

28才

日本共産党



若者に  
まともな雇用を!  
区民生活イチバンの区政実現へ

## プロフィール

- 1986 年生まれ。大阪・群馬・シンガポールと三つの小学校を転校
- 群馬県立高崎高校卒業
- 中央大学法学部政治学科卒業
- 09年 民青同盟東京都委員会常任委員
- 14年 日本共産党都議団事務局に勤務
- 趣味：料理・旅行・マンガ・アニメ

## 羽鳥だいすけさんをぜひ区政の場に



羽鳥さんは、日本共産党都議団事務局で若者の雇用や中小企業支援などを担当してきました。

私と企画した野方商店街での消費税増税影響アンケートで、羽鳥さんの取りまとめと分析が、都議団の質疑の重要なポイントになりました。

若い目で、ブラック企業や社会の矛盾に正面から向き合ってきたからこそ、住民の暮らしの痛みに応える力をつちかってきたと思います。

大いに期待しています。

都議会議員 植木こうじ

若者を使い捨てる  
社会は許せない!!

消費税増税・集团的自衛権・社会保障削減。国の悪政が生活と未来に重くのしかかっています

誰もが安心して住み続けられる中野区へ



学生時代から街頭での「生活相談」に参加。(写真は中野駅前での労働相談にて)

高校生の時に父が会社の中越地震対策の激務のなか脳梗塞で40代で亡くなりました。

大学に進み、平和問題や高学費問題、雇用問題など様々な社会問題に取り組みました。身も心も削りながら働いている多くの若者の実態を目の当たりにし、「こういう働き方を強いる社会は変えなければ」と強く思いました。

私は、こうした実態があるにもかかわらず、さらなる長時間労働や低賃金に苦しむ人を増やす政策を進めている政治を働く人の立場で変えていきたい。消費税増税や集团的自衛権行使容認でアメリカの戦争に参加し、命と暮らしを脅かす政治をストップしたい。そのためにも「誰もが安心して働き住み続けられる中野区」を実現するため、全力で奮闘する決意です！

党中野地区  
青年・雇用対策室長

羽鳥だいすけ  
はとり・大輔

## 羽鳥だいすけ物語

### 幼少期・学生時代

父の仕事で大阪やシンガポールなど引越し続きの幼少期でした。中学・高校で政治に関心を高め「自民党をぶっ壊す」と叫んだ小泉首相や、「政権交代」を訴えた民主党に心ひかれた時期もありました。しかし変わらない政治に不信を強めました。大学で共産党に出会い、社会の矛盾を解決する道すじと展望に衝撃をうけ入党。9条の会の活動や雇用問題などにも取り組みました。



### 「中野駅周辺大開発」は見直しを

この間の中野区政は、区民向け施策や施設をけずる一方で中野駅周辺大開発に突き進んでいます。サンプラザと区役所の解体・一体開発も狙われています。区民生活を圧迫する大型開発は見直すべきです。

### 地域での暮らし・福祉イチバンの区政へ

- 保育園・特養ホームの増設
- 「なかのん」(旧)の増発
- 西武新宿線の地下化で渋滞解消
- 中杉通りの拡幅(白鷺地区)は住民合意で
- 青年の就労支援、非正規・ブラック企業従業員の無料相談窓口設置
- 国保、介護保険料・利用料の軽減



地域の足である「なかのん」(旧)  
現在夕方5時以降はありません

### 社会人になって

大学での学びや活動の経験を通じて、「人間が本当に人間らしく生きていける日本」を実現したいと民青同盟に就職。学費問題、平和問題、ブラック企業問題などに取り組み、東日本大震災被災地支援にも従事。2014年2月からは日本共産党都議団事務局で環境やまちづくりの分野での政策活動を担当し、中野区の商店街で植木都議と消費税増税にともなう実態調査もおこないました。